

令和 8 年度着手

県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

大 堤 谷 地 区 農 業 用 用 排 水 施 設 事 業

【ため池等整備事業（防災重点緊急整備型）】

福 井 県

目 次

第 1 章 目 的	1
第 2 章 地 域 及 び 地 積	1
第 1 節 地 域	1
第 2 節 地 積	1
第 3 章 現 況	1
第 1 節 気象及び海象	1
1 . 一般気象	1
2 . 特殊気象	2
3 . 海 象	2
第 2 節 土地状況	2
1 . 地形、土壌及び侵食の程度	2
2 . 土地分類	3
3 . 土地利用の状況	3
4 . 土地所有の状況	3
第 3 節 水利状況	4
1 . 用水状況	4
2 . 排水状況	7
3 . 河川状況	9
第 4 節 道路概況	10
1 . 道路概況	10
2 . 主要道路一覧表	11
第 5 節 地域農業の概況	11
1 . 産業別就業人口	11
2 . 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	11
3 . 動力農機具及び主要家畜頭数	11
4 . 主要作物作付け状況	12
5 . 農業の動向	12
第 6 節 地域環境の概況	12
第 4 章 一般計画	13
第 1 節 事業計画の要旨	13
1 . 要 旨	13
2 . 事業別面積	13

第2節	営農計画及び土地利用計画	13
1.	営農計画の概要	13
2.	土地利用区分	13
3.	作付方式	14
4.	生産計画	14
5.	労働改善計画	15
6.	級地別土地利用区分	15
7.	土地配分計画	15
第3節	用水計画	16
1.	計画基準年	16
2.	計画かんがい方式	16
3.	計画用水系統	16
4.	計画用水量	17
5.	水源計画	18
第4節	排水計画	19
1.	計画基準雨量	19
2.	計画排水方式	19
3.	計画排水系統	19
4.	計画排水量	20
5.	排水対策	20
6.	たん水検討	20
第5節	道路計画	21
1.	道路及び索道	21
2.	路線配置図	21
第6節	農用地造成計画	22
1.	農用地造成計画	22
2.	土壌改良	22
第7節	洪水調節計画	22
1.	計画基準雨量	22
2.	計画洪水量及び調節量	22
3.	貯水池	22
4.	洪水調節検討	23
5.	管理計画	23
第8節	干拓計画	23
第9節	農用地整備計画	24
1.	区画整理	24
2.	暗渠排水	25
3.	客土	25
4.	農地保全	25

第10節	老朽ため池改修計画	26
1.	洪水吐改修計画	26
2.	堤体補強計画	26
3.	取水施設改修計画	26
第 5 章	主要工事計画	27
第 1 節	用水施設	27
1.	貯水池	27
2.	頭首工	27
3.	揚水機	27
4.	用水路	27
5.	その他かんがい施設	27
第 2 節	排水施設	28
1.	排水水門	28
2.	排水機	28
3.	排水路	28
4.	その他排水施設	28
第 3 節	道路及び索道	29
1.	道 路	29
2.	索 道	29
第 4 節	農用地造成	29
1.	農用地造成	29
2.	土壌改良	30
第 5 節	洪水調整施設	31
1.	貯水池	31
2.	頭首工及び導水路	31
第 6 節	干拓施設	31
1.	堤防	31
2.	潮止め	31
3.	付属施設	31
4.	埋立	32
第 7 節	農用地整備施設	32
1.	区画整理	32
2.	暗渠排水	32
3.	客土	33
4.	除礫	33
5.	農地保全	33

第8節 老朽ため池改修施設	34
1．貯水池	34
2．堤体補強施設	34
第6章 附帯工事計画	34
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	34
第8章 環境との調和への配慮	34
第9章 換地計画の概要	35
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	35
第2節 換地区の設定	35
1．換地区の名称、所在、面積	35
2．換地区を設定する理由	35
第3節 換地計画樹立の基本方針	35
1．従前の土地の地積の基準	35
2．用途別予定地積	36
3．農用地集団化の方針	37
4．非農用地の換地方法	37
第4節 土地の評価及び清算の方法	37
1．評価の方法	37
2．清算の方法	37
第5節 換地計画樹立の年度計画	37
第6節 換地処分の時期に関する特則	38
第10章 事業費の総額及び内訳	39
第11章 効 用	40
第12章 関連する事業	40
第13章 現況・計画図面	40

第1章 目 的

本地区のため池は3つあり、大堤谷第1、第3については、明治時代に築造され、現在に至っており、大堤谷第4については、昭和46～47年度かけて農業構造改善事業 浄法寺地区により築造され、現在に至っている。

本地区のため池は、令和2年10月に施行された防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法に基づく防災重点農業用ため池に指定されており、この法律に基づいて実施した地震・豪雨耐性評価の調査により、基準値を下回る結果となっている。ため池堤体が常時・地震時における安定性に欠け、堤体崩壊の危険が極めて高い状態である。

よって、本事業により安全性に欠けた不安定なため池の改修を実施し、営農労力と維持管理の低減を図るとともに、農業生産の維持、農業経営の安定および地域住民の暮らしの安全の確保を図り、災害に強い農村づくりを目指す。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農業用排水施設	永平寺町吉波、栃原 地係

第2節 地 積

令和7年11月

(第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農業用排水施設	永 平 寺 町	11.8	—	—	—	—	11.8	
計		11.8	—	—	—	—	11.8	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	福井	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H23年～R2年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		23.8	8.9	15.1	
降水量	平均 (mm)	194	207	202	
	基準年 (mm)	—	—	—	
降水日数	平均 (日)	11	17	15	
	基準年 (日)	—	—	—	
根雪期間		12月～	3月	— 日間	
無霜期間		4月～	11月	— 日間	
最多風向		S (南)	最大風速	21.8 m/S	

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 福井	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
観測期間 H 3年～R 2年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	198	H16. 7. 18	1/101	162	H18. 7. 18	1/22	144	H 7. 7. 3	1/11	138	H25. 7. 29	1/9	134	H24. 9. 6	1/8	
最大時間雨量 (mm)	75	H16. 7. 18	1/43	63	H21. 8. 2	1/17	63	H24. 9. 6	1/17	55	H25. 7. 13	1/10	55	R2. 9. 4	1/10	
最大4時間雨量 (mm)					記 録 な し											
最大連続雨量 (mm)	567	H 7. 7. 1 ～H 7. 7. 22	1/61	534	H18. 7. 11 ～H18. 7. 27	1/45	350	H25. 11. 15 ～H25. 12. 11	1/8	347	H30. 9. 3 ～H30. 9. 18	1/8	341	H26. 8. 2 ～H26. 8. 30	1/7	
最大連続干天日数 (mm)	34	H30. 7. 13 ～H30. 8. 15	1/47	32	H 6. 7. 8 ～H 6. 8. 8	1/32	29	H9. 8. 8 ～H9. 9. 5	1/17	25	H22. 7. 16 ～H22. 8. 9	1/8	23	H14. 5. 19 ～H14. 6. 10	1/5	

3. 海 象

(第3表-3)

観測所名 観測期間	年～年	既往最高 潮位	さく望平均 満潮位	上下弦平均 満潮位	平均潮位	上下弦平均 干潮位	さく望平均 干潮位	既往最低 潮位	備考
実 測 値					該 当	事 項	な し		

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑 ・ そ の 他										受益地標高 (m)	備考
		傾斜 区分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
農業 用排水 施設	面積 (ha)	—	—	11.8	—	—	—	11.8	—	—	—	—	—	—	—	—	71.1	52.4	
	比率 (%)	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—			
	面積 (ha)																		
	比率 (%)																		
計	面積 (ha)	—	—	11.8	—	—	—	11.8	—	—	—	—	—	—	—	—	71.1	52.4	
	比率 (%)	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—			

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 区 分 一 覧 表									面 積 (ha)			備考
	土 壤 断 面							堆積様式	母材	事 業 名			
	色	腐植層	レキ層	酸化沈殿物	土 性					泥炭層 黒泥層 及びグライ層	農業用排水施設	計	
					表土	下 層 土							
					一層	二層	三層						
G-62	YR/YR	なし	なし	雲状有糸根状有	壤質	壤質	砂質	なし	沖積世	非固結水成岩	11.8		11.8
計											11.8		11.8

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土 壤 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ侵食程		備考
		0%	0%～25%	25%～50%	50%以上	0mm	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)					該 当 事 項 な し						
	比率 (%)											

2. 土地分類

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考	
		一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地			
			※ (ha)	3° ～8° (ha)	8° ～12° (ha)	12° ～15° (ha)	※ (ha)	15° ～20° (ha)	20° ～25° (ha)	25° ～30° (ha)	※ (ha)			30° 以上 (ha)
													※は傾斜 以外の要 因による もの	

市町村名	級地別	干 拓					備 考
		一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
						該 当 事 項	
						な し	

3. 土地利用の状況

令和7年11月 (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 草 放 牧 地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ 樹 の 園 他 地 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)					
農業用排水施設	永平寺町	11.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.8	
合 計		11.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.8	

4. 土地所有の状況

令和7年11月 (第4表-4)

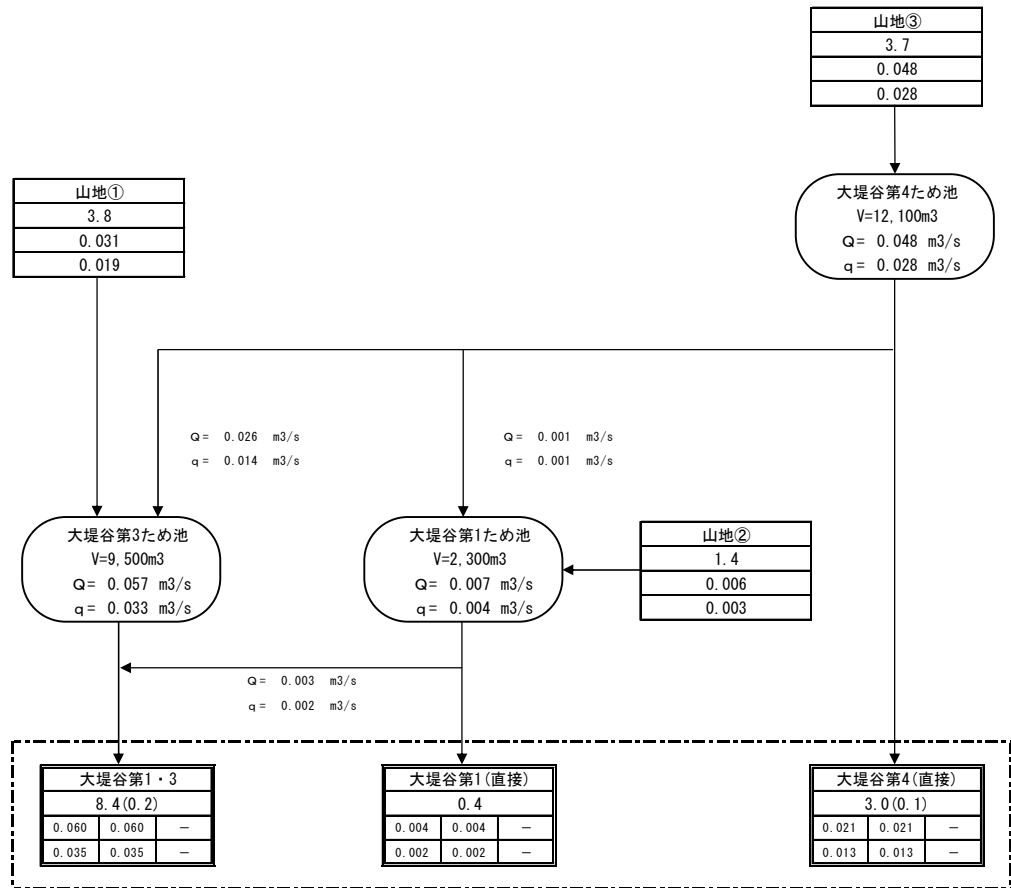
事業名	所 有 別		民 有 地	国 有 地	県 有 地	市 町 村	土地改良区	計	備 考
	区 分								
農業用排水施設	面 積 (ha)	11.8	—	—	—	—	—	11.8	
	受 益 者 数 (人)	25	—	—	—	—	—	25	
	筆 数 (筆)	104	—	—	—	—	—	104	
	権 利 関 係	—	—	—	—	—	—	—	
	備 考								
	面 積 (ha)								
	受 益 者 数 (人)								
	筆 数 (筆)								
	権 利 関 係								
	備 考								
合 計	面 積 (ha)	11.8	—	—	—	—	—	11.8	
	受 益 者 数 (人)	25	—	—	—	—	—	25	
	筆 数 (筆)	104	—	—	—	—	—	104	
	権 利 関 係	—	—	—	—	—	—	—	
	備 考	—	—	—	—	—	—	—	

第 3 節 水利状況

1. 用水状況

本地区の用水は溪流水を水源としており、ため池を経由し、開水路により受益地まで送水している。

(1) 現況用水系統



凡 例		
地区内		
(イ)	(4) 系 統 名	
(ロ)	(0) 受 益 面 積	
(ハ)	(ホ)	(ト)
(ニ)	(ヘ)	(ト)
地区外		
(イ)	(4) 流 域 面 積	
(ロ)	(0) 代 播 期 流 量	
(ハ)	(ホ)	(ト)
(ニ)	(ヘ)	(ト)
(イ)	(4) 流 域 面 積	
(ロ)	(0) 代 播 期 流 量	
(ハ)	(n) 普 通 期 流 量	

(2) 用水施設
(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

（第 〇 表 - 1）

事業名	項目	かんがい面積						計		水利権		その他		延べ 取水量	備考
		500ha以上		50～100ha		50ha未満									
	施設名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
農業用排水施設	貯水池 自然取入口	—	—	—	—	3	12.1	3	12.1	—	—	3	0.112	0.112	
	井 堰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	揚水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計	—	—	—	—	3	12.1	3	12.1	—	—	1	0.112	0.112	
合 計		—	—	—	—	1	12.1	1	12.1	—	—	1	0.112	0.112	

※かんがい面積には、不可避面積0.3haを含む

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又は更新年	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
農業用排水施設	貯水池	3	11.8	均 一 型	第1:V2, 300m³, H3.7m, L42.4m 第3:V9, 500m³, H5.0m, L41.5m 第4:V15, 400m³, H8.9m, L58.0m	第1, 3:不明 第4:S47	・堤体の耐震性の確保	
	井 堰	—	—	—	—	—	—	
	自 然 取入口	—	—	—	—	—	—	
	揚水機	—	—	—	—	—	—	
	用水路	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	—	
	計	3	11.8					
合 計		3	11.8					

(3) 用水に関する被害状況
(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項 目 系統名	かんがい 面 積 (ha)	現 況 必要水量 (千m ³)	不 足 水 量				平 均		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		減 産 量		
				平均(m ³ /s)	基準年(m ³ /s)	平均(千m ³)	基準年(千m ³)	作 物 名	減産量(t)	
				該 当 事 項 な し						
	計									
合 計										

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積(ha)	水温(℃)		水質	被害量(t)	備考
			最高	最低			
			該当事項なし				

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公施設	家屋その他	計	
農業用排水施設	6.0	—	—	6.0	—	17	101	19	510	647	
合計	6.0	—	—	6.0	—	17	101	19	510	647	

2. 排水状況

該 当 事 項 な し

(1) 排水系統

該 当 事 項 な し

(2) 排水施設
(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項 目		排 水 面 積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水 能 力 (m³/s)	備考				
			500ha以上		100～500ha		100ha未満										
	施 設 名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha							
	自 然	排 水 路															
		水 門															
	機 械	排 水 機			該 当 事 項 な し												
		水 門 及 び 排 水 機															
		排 水 路 及 び 排 水 機															
	計																
	合 計																

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項 目		施設名又は 箇 所 数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施 設 名								
	自 然	排 水 路							
		水 門							
	機 械	排 水 機			該 当 事 項 な し				
		水 門 及 び 排 水 機							
		排水路及び 排 水 機							
	計								
	合 計								

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項 目	排水面積 (ha)	降 水 量 (mm)		湛 水 状 況				乾 湿 状 況(ha)						平 均 減 産 量		備考
	系統名				湛 水 深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛 水 量 (千m³)	田		畑		その他		作 物 名	減 産 量 (t)	
					乾 湿 乾 湿 乾 湿	乾 湿 乾 湿 乾 湿	乾 湿 乾 湿 乾 湿	乾 湿 乾 湿 乾 湿									
			平均														
			基準年														
			平均		該 当 事 項 な し												
			基準年														
計																	
合 計																	

3. 河川状況
(1) 河川状況

(第5表-7)

項 目 河 川 名	流 路 状 況	勾 配	断 面	計画洪水量	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備 考
			該 当 事 項	な し		

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項 目 区 分	農 用 地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作 物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備 考
過去の最大被害額			該 当 事 項	な し	
平 均 被 害 額					

第 4 節 道路概況

1. 道路概況

該 当 事 項 な し

2.主 要 道 路 一 覧 表

(第 6 表)

No	路 線 名	管 理 区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の可否	備 考
				全 幅	有 効			
			該 当			事 項 な し		

第5節 地 域 農 業 の 概 況

1.産 業 別 就 業 人 口

令和2年国勢調査 (第7表-1)

項 目 市町村名	総 数	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建設業	製造業	電 気 ガ ス 熱供給 水道業	運 輸 通信業	卸 売 小売業	金 融 保険業	不 動 産 業	サービ ス 業	公 務	その他	備 考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
永平寺町	10,161	296	9	2	3	905	1,803	66	605	1,537	228	110	4,211	386	—	国勢調査
計	10,161	296	9	2	3	905	1,803	66	605	1,537	228	110	4,211	386	—	
比率 (%)	100.0	3.1	0.1	—	—	8.9	17.7	0.6	6.0	15.1	2.2	1.1	41.4	3.8	—	

2.経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

農林業センサス 令和2年度 (第7表-2)

項目 市町村名	農家総戸数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											一 戸 当 た り 平 均 農 用 地 面 積 (ha)						耕 地 の 分 散 状 況		専兼業別農家数 (戸)			備考		
		例 外 規 定 の 適 用 を 受 け る も の	0.3 ～0.5	0.5 ～1.0	1.0 ～1.5	1.5 ～2.0	2.0 ～3.0	3.0 ～5.0	5.0 ～10.0	10.0 ～20.0	20.0ha 以上	自給的 農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一戸当 団地数	団地当 面 積 (ha)	専 業	兼 業				
																						第一種	第二種			
永平寺町	269	3	46	100	49	24	14	11	11	2	9	—	1.81	0.36	—	2.17	—	2.17	—	—	—	—	—	492		
計	269	3	46	100	49	24	14	11	11	2	9	—	1.81	0.36	—	2.17	—	2.17	—	—	—	—	—	—	492	
比率 (%)	100.0	1.1	17.1	37.2	18.2	8.9	5.2	4.1	4.1	0.7	3.3	—	83.4	16.6	—	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	100.0	

3.動 力 農 機 具 及 び 主 要 家 畜 頭 数

農林業センサス 令和2年度 (第7表-3)

項 目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜							
	トラクター		田 植 機		動力防除機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		採卵鶏		豚	
	数 量	戸 数	数 量	戸 数	数 量	戸 数	数 量	戸 数	数 量	戸 数	数 量	戸 数	数 量	戸 数	数 量	戸 数
永平寺町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100戸当数 量(台、 頭)	—		—		—		—		—		—		—		—	
利用戸数 割合 (%)																

※表内の記号の意味は次のとおりとする (0:単位に満たないもの ー:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)。

4. 主要作物作付け状況

農林水産統計年報 R7現在 (第7表-4)

市 町 村 名			永平寺町						計	平 均	作付率	備 考
総耕地面積(ha)			987						987	987		
総本地面積(ha)			955						955	955		
区 分			作 付 面 積	単 位 面 積	作 付 面 積	単 位 面 積	作 付 面 積	単 位 面 積	作 付 面 積	単 位 面 積		
作物名			(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(%)	
輪 換 田	表 作	水 稲	608	505					608	505	63.7	
		小 麦	131	189					131	189	13.7	
	裏 作	大 豆	4	56					4	56	0.4	
		そ ば	74	73					74	73	7.7	
	小計		817						817			
	畑	春 夏 作										
秋 冬 作												
小計		—										
樹 園 地												
	小計	—										
計			817						817			
市 町 村 別 延べ作付率(%)			85.5						85.5			

5. 農業の動向

農林水産統計年報 R7現在 (第7表-5)

項 目 区 分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農 機 具 名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	総 農 家 数	83	54	耕 地	98	95	水 稲	98	93	乳 牛	－	－	田 植 機	64	－	農業振興地域 ・永平寺町(旧永平寺町) 指定 S46. 3. 9 認可 H21. 2. 5	A:令和2年 B:平成27年 C:平成22年
	専 業 農 家	241	－	田	98	96	麦 類	109	－	肉 用 牛	－	－	動 耕 耘 機	－	－		
	第 一 種 兼 業 農 家 集	76	－	畑	100	98	豆 類	43	13	豚	－	－	トラクター	70	－		
	第 二 種 兼 業 農 家 集	79	59	樹 園 地	－	－				採 卵 鶏	－	－	バインダ	－	－		
	農 従 事 者 数	72	－	草 地	－	－							コンバイン	67	－		
変化の理由	担い手農家への農業経営のシフト			農地転用に伴う改廃			農地の汎用化に伴う転作面積の拡大			農業離れ			農業離れに伴う農機具所有台数の減				

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの ー:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)。

第6節 地域環境の概況

本地区は、永平寺町の北部に位置し、一級河川 九頭竜川の右岸側に広がる農業地域であり、豊かな自然に囲まれた地区である。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地区のため池は、常時・地震時における安定性に欠け、堤体崩壊の危険が極めて高い状態である。
よって、本事業により脆弱化した堤体を改良土によりかさ上げを行うことで、安全性を確保し、更に、老朽化した洪水吐等も併せて整備を行い、災害発生を未然に防止する必要がある。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農業用排水施設												計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
農業用排水施設	11.8	—	—	—	—	11.8						—	11.8	
計	11.8	—	—	—	—	11.8						—	11.8	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区では、現在作付けされている水稻＋小麦を今後も作付けしていく計画である。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	備考
農業用排水施設	現 況	11.8	—	—	—	—	—	11.8	—	—	—	11.8	
	計 画	11.8	—	—	—	—	—	11.8	—	—	—	11.8	
	現 況												
	計 画												
計	現 況	11.8	—	—	—	—	—	11.8	—	—	—	11.8	
	計 画	11.8	—	—	—	—	—	11.8	—	—	—	11.8	

3. 作付方式

(第 9 表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年目												2 年目												3 年目												備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
農業用排水施設	現 況	水稲＋畑作物	輪換田																																					
		畑																																						
			樹園地																																					
				計 画	水稲＋畑作物	輪換田																																		
	畑																																							
		樹園地																																						

4. 生産計画

(第 9 表-3)

事業名	土地利用区分	項目	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収穫量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減 の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当 収 量 増 加	
農業用排水施設	輪換田	表 作	水 稲	7.3	7.3	－	65.8	65.8	494	494	－	36.1	36.1	－	－	－	
			小 麦	3.4	3.4	－	30.6	30.6	197	197	－	6.7	6.7	－	－	－	
			ばれいしょ	0.4	0.4	－	3.6	3.6	1,209	1,209	－	4.8	4.8	－	－	－	
		裏 作															
	畑	春夏作															
		秋冬作															
樹園地																	
合 計				11.1	11.1	－	100.0	100.0									

※表内の作付率は本地面積（現況11.1ha，計画11.1ha）に対する割合である。

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
	土地利用区分			区分	現況	計画	増減	
農業用排水施設	輪換田	水 稲	7.3	人 力	15.88	15.88	－	
				機 械	2.88	2.88	－	
		小 麦	3.4	人 力	5.17	5.17	－	
				機 械	2.36	2.36	－	
		ばれいしょ	0.4	人 力	89.74	89.74	－	
				機 械	3.15	3.15	－	
	畑							
	樹園地							
合 計			11.1					

※表内の作付面積は本地率を考慮した値である。

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

区分 土地利用区分		農 用 地 造 成 (ha)					干 拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(桑 園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反		()	()	()	()	()	()	()	()	
入 植		()	()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用水計画

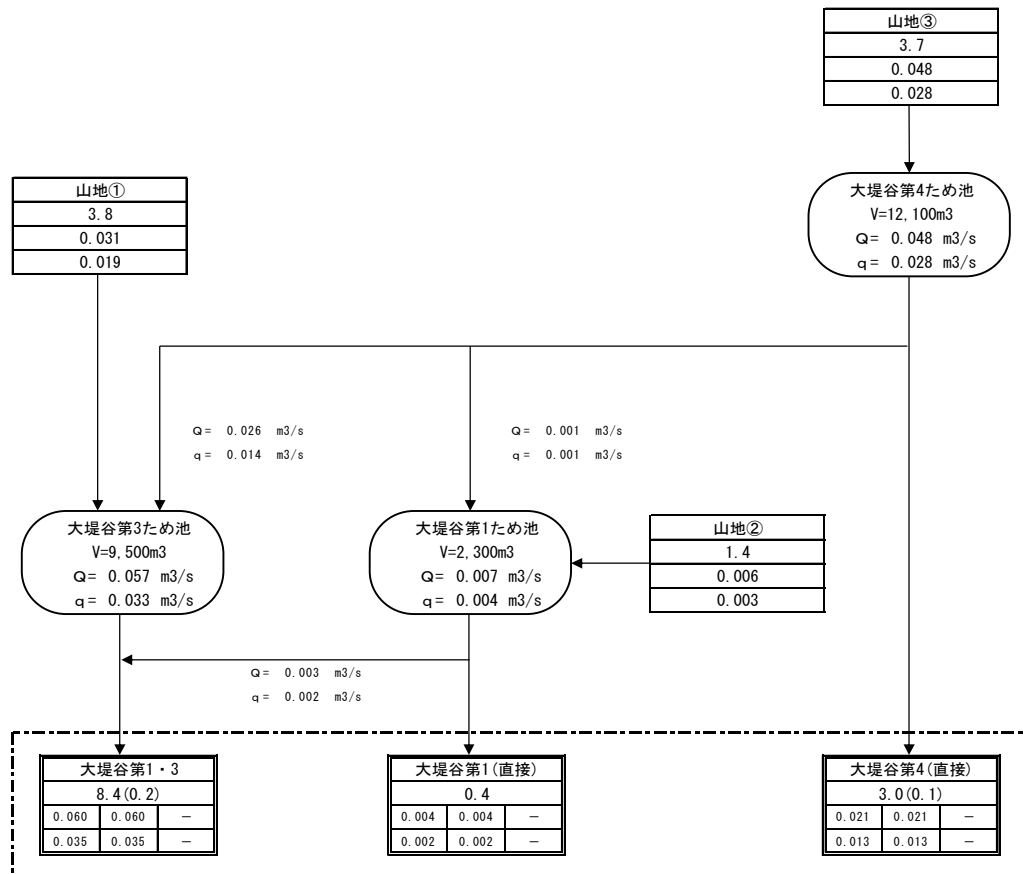
1. 計画基準年

計画基準年…………… 1997年 (福井地方気象台福井観測所1995年～2024年の30年間)
連続干天日数29日

2. 計画かんがい方式

かんがい方式…………… 開水路によるかんがい

(1) 計画用水系統



凡 例	
地区内	
(イ)	(イ) 系 統 名
(ロ)	(ロ) 受 益 面 積
(ハ)	(ハ) 代 掻 期 必 要 水 量
(ニ)	(ニ) 普 通 期 必 要 水 量
(ヘ)	(ヘ) 代 掻 期 利 用 可 能 量
(ト)	(ト) 普 通 期 利 用 可 能 量
地区外	
(イ)	(イ) 不 足 量
(ロ)	
(ハ)	
(ニ)	
(ヘ)	
(ト)	
(イ)	(イ) 流 域 面 積
(ロ)	(ロ) 代 掻 期 流 量
(ハ)	(ハ) 普 通 期 流 量

4. 計画用水量
(1) かんがい用水

系統名	項目 種別	面 積 (ha)				水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい		
		事 業 名				普通期	代掻期	面 積 (ha)	一 日 当 計 画 平均 かん 水 深	平 均 間 断 日 数	面 積 (ha)	一 日 当 計 画 平均 かん 水 深	平 均 間 断 日 数	面 積 (ha)
		農業用 排水 施 設			計	計画平 均単位 用水量 (mm/日)	計画代 掻単位 用水量 (mm/日)			(日)		(mm/日)	(日)	
大 堤 谷 第1(直接)	用水	0.4			0.4	28	150	0.4	4	3	—	4	3	—
大 堤 谷 第1,3	用水	8.6			8.6	28	150	5.7	4	3	2.9	4	3	—
大 堤 谷 第4(直接)	用水	3.1			3.1	28	150	2.0	4	3	1.1	4	3	—
計		12.1			12.1			8.1			4.0			—

※面積は、不可避込みの面積である。

(第10表-1-1)

その他		消 費 水 量 (m³/s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考
計 画 平 均 単 位 用 水 量 (mm/日)	面 積 (ha)			平 均 (m³/s)	最 大 (m³/s)	
—	—	0.003	15	0.002	0.004	
—	—	0.052	15	0.035	0.060	
—	—	0.018	15	0.013	0.021	
—	—	0.074		0.050	0.085	

※消費水量は代掻期の値、粗用水量の平均値は出穂開花期、最大値は代掻期の値とした。

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量 (㎡/日)	最大給水量 (㎡/日)			
				計					
		該 当 事 項			な	し			

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分		消費 水 量	有効 雨量	純用 水 量	粗用 水 量	現況利用可能水量			不 足 水 量		水 源 依 存 量		水源 工種	備考
						水 源 名	取水地点 利用 可能量	圃場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水 量		
事業名		a (千m³)	b (千m³)	c=a-b (千m³)	d=c/(1-a) (千m³)	該 当	事 項	な し				(千m³)		損失率 α
計														

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備 考
			事業名							
	直接	間接	用排水		計					
大堤谷第1	0.014	—	9.0		9.0	2.3	2.3	—	0.007	
大堤谷第3	0.038	—	8.6		8.6	9.5	9.5	—	0.057	
大堤谷第4	0.037	—	12.1		12.1	15.4	15.4	—	0.048	
計	0.089	—	12.1	—	12.1	27.2	27.2	—	0.112	

※かんがい面積は、不可避面積込みの面積である。

※かんがい面積については、大堤谷第1及び第3は、第4と重複。

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河 川 名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取水量 (m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名			最大	平均		
					計				
			該 当 事 項 な し						
計									

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項 目 名 称		水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m³/s)		揚 水 機				備 考
			事 業 名					実揚程 (m)	揚水量 (m³/s)	台 数 (台)	全揚水量 (m³/s)	
					計	最 大	平 均					
			該 当			事 項 な し						

(エ) 用水路

(第10表-6)

項 目	かんがい面積 (ha)			最 大 通水量 (m³/s)	延長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名						
			計				
			該 当 事 項	な し			

(オ) その他の水源施設

該 当 事 項 な し

(3) 水質水温

(第10表-7)

時 間 別	か ん が い 面 積	水 温		水 質	被 害 量	備 考
		最 高	最 低			
		該 当	事 項	な し		

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

該 当 事 項 な し

2. 計画排水方式

該 当 事 項 な し

3. 計画排水系統

該 当 事 項 な し

4. 計畫排水量

(第 11 表-1)

項目 排水系統名	受 益 面 積 (ha)				流 域 面 積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降 雨 に よ る 直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量(m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		
	事 業 名				山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
				計									自然排水	機械排水			
							該 当 事 項 な し										
計																	

5. 排水対策

(1) 排水水門

(第 11 表-2)

[illegible]

(2) 排水機

(第 11 表-3)

[illegible]

(3) 排水路

(第 11 表-4)

[illegible]

(4) その他

該 当 事 項 な し

6. たん水検討

該 当 事 項 な し

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

(第12表-1)

項 目 路線名	幅 (有効) × (m)	延 長 (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
	該 当 事 項 な し				
計					

(2) 索 道

(第12表-2)

項 目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考
	該 当 事 項 な し			

2. 路線配置図

該 当 事 項 な し

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標 準 区 画 の 形 状	備 考
		該 当	事 項 な し		

(2) 末端道水路配置図

2. 土壌改良

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土 壌 統(区)名	pH		置換酸度 (Y1)	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備 考
			H ₂ O	KCI			石灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有機質 資材(t)	
				該 当	事 項 な し					

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該 当 事 項 な し

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達 時間 (hr)	計画 洪水量 (m ³ /s)	安全 洪水量 (m ³ /s)	必要 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後 流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後 の最大 流量の差 (m ³ /s)	最大 調節量 (m ³ /s)
				該 当	事 項 な し					

3. 貯 水 池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量(千m ³)			計画調節 流量(m ³ /s)	可能調節 流量(m ³ /s)	備 考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			
大堤谷第1	0.014	—	0.24	2.3	—	—	—	—	
大堤谷第3	0.038	—	0.59	9.5	—	—	—	—	
大堤谷第4	0.037	—	0.51	15.4	—	—	—	—	

4.洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該 当 事 項 な し

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該 当 事 項 な し

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該 当 事 項 な し

5.管理計画

(1) 管理機構

該 当 事 項 な し

(2) ダム管理操作上の各種基準

該 当 事 項 な し

(3) 洪水調節要領

該 当 事 項 な し

第8節 干拓計画

(第15表)

項 目 名 称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (hP)	備 考
		該 当	事 項 な し			

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長 辺× 短 辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
	該 当 事 項 な し				
計					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m³)	備 考
	該 当 事 項 な し			

(3) 末端道水路配置図

該 当 事 項 な し

2. 暗渠排水
(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (m³/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備 考
	事業名	計							
				該 当 事 項	な し				
計									

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
	事業名	計				
				該 当 事 項	な し	
計						

3. 客 土

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m³)	土壌の性質		備 考
	事業名	計			現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地	採土地 (客土材料)	
				該 当 事 項	な し							
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考
	該 当 事 項	な し		

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m³/s/ha)	全排水量 (m³/s)	
		該 当 事 項	な し			

(3) 侵食(崩壊)防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考
	該 当 事 項	な し		

第 10 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

1/200年確率・・・・・・76.0mm/hr

(2) 計画洪水量

- ・大堤谷第1・・・・ 0.24 m³/s
- ・大堤谷第3・・・・ 0.59 m³/s
- ・大堤谷第4・・・・ 0.51 m³/s

2. 堤体補強計画

地震対策・・・・・・築堤盛土による耐震性の確保

3. 取水施設改修計画

該 当 事 項 な し

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名称	大堤谷			位置	永平寺町吉波地係					備 考
堤 体	型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	基礎地盤地質	貯水量 (千m ³)		
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
	[第1] 均一型	0.014	—	4.13	42.40	2.65	粘質・礫質	2.3	2.3	
[第3] 均一型	0.038	—	5.30	41.50	2.97	粘質・礫質	9.5	9.5		
[第4] 均一型	0.037	—	10.10	58.00	12.81	粘質・礫質	15.4	15.4		
洪水吐	型 式		洪水量 (m ³ /s)	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)	
	[第1] 水路流入型		0.24		[第1] 斜樋	0.007		[第1] —	—	
	[第3] 水路流入型		0.59		[第3] 斜樋	0.057		[第3] —	—	
	[第4] 水路流入型		0.51		[第4] 斜樋	0.048		[第4] —	—	

2. 頭首工

(第17表-2)

名 称	位 置			備 考		
型 式	提 高 (m)	提 長 (m)		取 水 位 (m)	取 水 量 (m ³ /s)	付帯施設
		固 定 部	可 動 部			
			該 当 事 項	な し		

3. 揚水機

(第17表-3)

項 目 名 称	位 置	揚水量 (m ³ /s)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			全揚程	実揚程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 (kW)	台 数 (台)	
				該 当 事 項	な し						

4. 用水路

(第17表-4)

項 目 水路名	かんがい面積 (ha)			通水量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計				
			計								
				該	当	事	項	な	し		
計											

5. その他かんがい施設

該 当 事 項 な し

第2節 排水施設

1. 排水水門

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /s)	備考
			該 当 事 項 な し				
計							

2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kW)	台数 (台)	
				該 当 事 項 な し							
計											

3. 排水路

(第18表-3)

項 目 水路名	受 益 面 積 (ha)			排水量 (m³/s)	延 長 (km)			構 造	勾配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計				
			計								
				該 当 事 項 な し							
計											

4. その他排水施設

該 当 事 項 な し

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項 目 区 分	路 線 名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 勾 配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲 線半径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
			該 当 事 項	な し						
計										

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項 目 路線名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考
		該 当 事 項	な し		

2. 索 道

(第19表-3)

項 目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				形 式	動 力	
		該 当 事 項	な し			

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根

(第20表-1)

項 目 区 分	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
			該 当 事 項	な し		
計						

(2) 除 礫

(第20表-2)

項 目 区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m³/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項	な し		
計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

区 分 \ 項 目		面 積	工 法	備 考
地 目	造成工法	(ha)		
		該 当	事 項 な し	
計				

(4) 地目変換

(第20表-4)

区 分 \ 項 目		面 積	工 法	備 考
		(ha)		
		該 当	事 項 な し	
計				

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

区 分 \ 項 目		数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当	事 項 な し		

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

区 分 \ 項 目		数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当	事 項 な し		

2. 土壌改良

(第20表-7)

区 分 \ 項 目		面 積	石 灰 量	りん酸質資材量	有機質資材量	備 考
		(ha)	(t)	(t)	(t)	
			該 当	事 項 な し		
計						

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

該 当 事 項 な し

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名称			位置	長 (m)		計画洪水位 (m)	付帯施設	備 考
			堤	固定部	可動部			
型式	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)			計			
			該	当	事	項	な	し

(2) 導水路

(第21表-3)

(第2-1表-3)

項目 水路名	通水量 (m³/s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	その他	計			
				該 当	事 項 な し		

第6節 干拓施設

1. 堤 防

(第22表-1)

項 目 名 称	型 式	延長 (m)	構 造					原地盤標高 (m)		備 考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	最 低	
				該	当	事	項	な	し	

2. 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考
			該	当	事	項	な し

3. 付属施設

該 当 事 項 な し

4. 埋 立

(第22表-3)

項目 区分	面 積 (ha)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量 (m³)	施 工 方 法	備 考
		該 当 事 項 な し			

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量(m³)	面 積(ha)	土 量(m³)	
		該 当 事 項 な し				

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当 事 項 な し		

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当 事 項 な し		

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠						集 水 渠 出 口 以下の排水施設			備 考
	事 業 名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
			計														
					該	当	事	項	な	し							
計																	

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

区分	項目 対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項	な し		
計					

3. 客 土

(第23表-5)

区分	項目	面 積 (ha)			客入土量 (千m ³)	土取場土量 (千m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
		事 業 名	計						
				該 当 事 項	な し				
計									

4. 除 礫

(第23表-6)

区分	項目 対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項	な し		
計					

5. 農地保全

(1) 防風林

(第23表-7)

区分	項目 幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考
			該 当 事 項	な し		
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

区分	項目 延 長 (m)	流 量 (m ³ /s)	構 造	備 考
		該 当 事 項	な し	
計				

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

名称	項目 構 造	数 量	備 考
		該 当 事 項	な し
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名 称	大堤谷				位 置	永平寺町吉波地係		
	型 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m ³)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m ³)	備 考
堤 体	[第1]							
	均一型	0.014	4.13	42.40	2.65	3.00	2.3	
	[第3]							
	均一型	0.038	5.30	41.50	2.97	3.10	9.5	
洪 水 吐	[第4]							
	均一型	0.037	10.10	58.00	12.81	4.70	15.4	
	型 式	排 水 量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 設 備	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	備 考
	[第1]					[第1]		
	水路流入型	0.24	B1.0×H1.3			斜樋	0.007	
	[第3]					[第3]		
洪 水 吐	水路流入型	0.59	B1.6×H1.56			斜樋	0.057	
	[第4]					[第4]		
	水路流入型	0.51	B1.2×H1.99			斜樋	0.048	

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

- ・大堤谷第1 …… 該当事項なし
- ・大堤谷第3 …… 張ブロックにより、法面保護を行う。
- ・大堤谷第4 …… 張ブロックにより、法面保護を行う。

(2) 漏水防止工

- ・大堤谷第1 …… 該当事項なし
- ・大堤谷第3 …… 遮水シート（ペントナイトシート）を設置し、漏水対策を行う。
- ・大堤谷第4 …… 該当事項なし

第6章 附帯工事計画

- ・大堤谷第1 …… 安全施設（防護柵）の設置・撤去
- ・大堤谷第3 …… 安全施設（防護柵）の設置・撤去
- ・大堤谷第4 …… 安全施設（防護柵）の設置・撤去

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

換地区または工区	着 手	完 了 予 定	備 考
全区	令和 8 年度	令和 12 年度	

第8章 環境との調和への配慮

施工の際、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

本ため池では、ツチガエル、アカハライモリ（両生類）、オオヨシノボリ（魚類）、コシアキトンボ、クロスジゲンヤンマ、ギンヤンマ、ルリボシヤンマ、シオカラトンボ、アジイトトンボ（トンボ類）、スジエビ、マツモムシ（底生動物）、ホソバミズヒキモ（植物）など多種多様な種がそれぞれ確認された。このうち、重要な種として環境省RL、福井県RDBに指定されているアカハライモリ、ホソバミズヒキモが確認されており、これら重要な種をはじめとする在来種の積極的な保全が求められる。

施工前の水抜きの際には、斜樋、底樋ゲートの流出ポイントにタモ網等を設置し、生物の流出防止に努める。さらに、水面積が小さくなった時点（植物の場合は採取が可能な時点）で、個体の全量採捕を実施し、周辺の生息適地、またはコンテナ等の一時的な避難場所に移動する。なお、外来種が確認された場合は、その場で駆除を行う。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該 当 事 項 な し

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
	該 当 事 項 な し	

2. 換地区を設定する理由

該 当 事 項 な し

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準
	該 当 事 項 な し

2. 用途別予定地積

用途 (取得 予定者)	換地区名	前・後	非 農 用 地 区 域 外 に 換 地 す る 土 地												
			田	畑	山林・原野	その他	通常事業施行地域に 含める土地（令第1条 の9（ ）書き）			計	本事業によって 生ずる土地改良 施 設 用 地			創設農用地	合計
							土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計		
						該 当 事 項 な し									

(単位：ha) (第2.5表-3)

非 農 用 地 区 域 に 換 地 す る 土 地										機 能 交 換 に 係 る 土 地					
特 定 用 途 用 地			異 種 目 換 地	創 設 非 農 用 地					合 計	国	県	市 町 村 他	合 計	一 般 国 公 有 地	総 合 計
宅 地	そ の 他	計		農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 施 設 用 地	宅 地 等	計							

3 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区分	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取扱い
		該 当 事 項	な し	

4 非農用地の換地方法

該 当 事 項 な し

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評 価 の 方 法

該 当 事 項 な し

2 清 算 の 方 法

該 当 事 項 な し

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区 分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予 定 年 度	備 考
		該 当 事 項	な し	

第6節 換地処分の時期に関する特則

該 当 事 項 な し

事業名 区 分		農業用排水施設	備 考
堤体工		331,800 千円	令和 7 年度単価
洪水吐工		48,300 〃	
附帯工		28,300 〃	
仮設工		61,600 〃	
小 計		470,000 〃	
測量試験費		43,000 〃	
用地買収補償費		7,000 〃	
小 計		50,000 〃	
計		520,000 〃	
総事業費		520,000 〃	
関連事業 (参考)			

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区 分	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備 考
農業用排水施設	食料の安定供給の確保 に 関 する 効 果	4,646	—	
	作 物 生 産 効 果	5,095	—	
	営農経費節減効果	△ 414	—	
	維持管理費節減効果	△ 35	—	
	農 村 の 持 続 的 発 展 に 関 する 効 果	9,268	—	
	災 害 防 止 効 果 (農 業 資 産)	9,268	—	
	農 村 の 振 興 に 関 する 効 果	17,509	—	
	災 害 防 止 効 果 (一 般 資 産)	17,509	—	
	多 面 的 機 能 の 発 揮 に 関 する 効 果	792	—	
	災 害 防 止 効 果 (公 共 資 産)	792	—	
	そ の 他 効 果	933	—	
	国 産 農 産 物 安 定 供 給 効 果	933	—	
	計	33,148	—	令和 7 年度単価

総 費 用 (現在価値化) : 586,175 千円

総便益額(現在価値化) : 686,829 千円

総 費 用 総 便 益 比 : 1.17 ≥ 1.00

総 所 得 償 還 率 : — % ≤ 20 %

増 加 所 得 償 還 率 : — % ≤ 40 %

第12章 関連する事業

(第28表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積 (ha)	備 考
		該 当 事 項 な し		

第13章 現 況・計 画 図 面

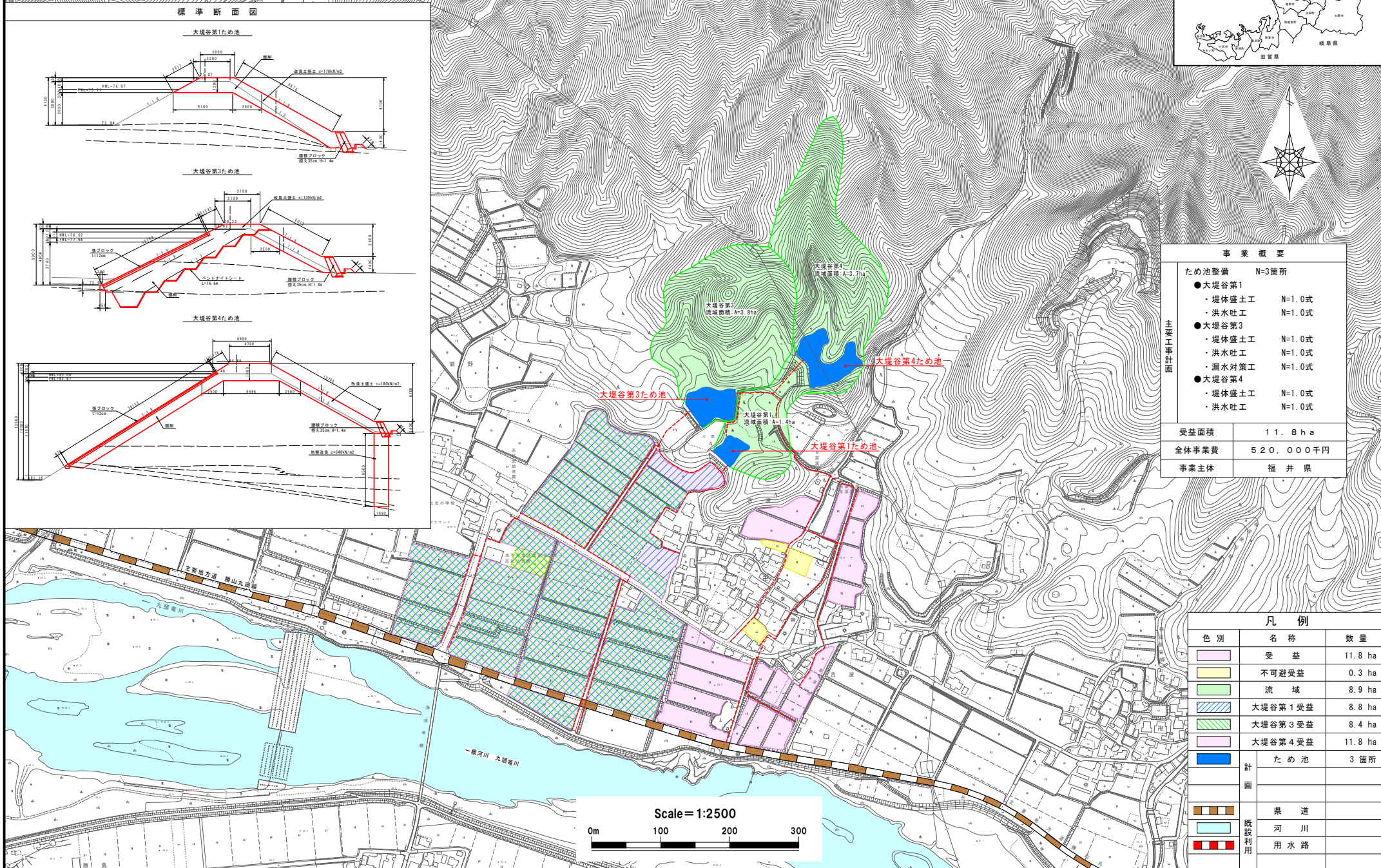
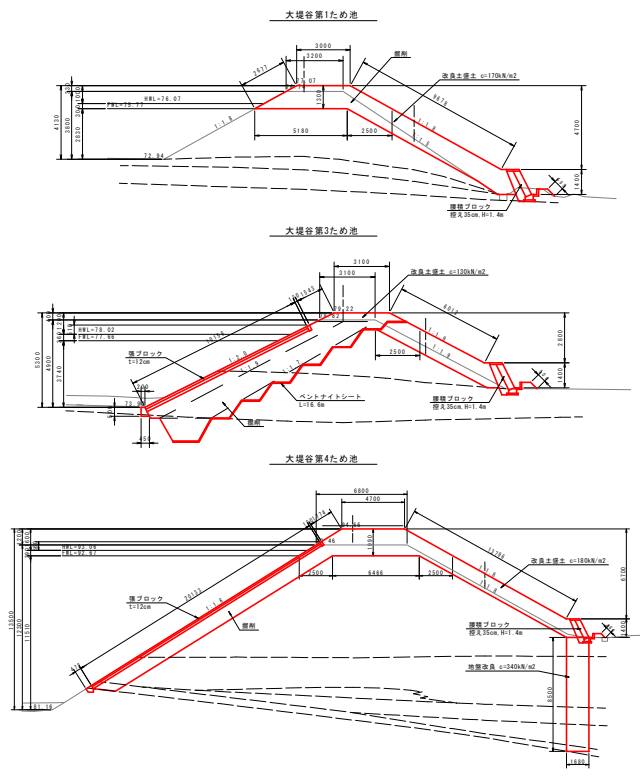
別途添付

1. 計 画 平 面 図



令和8年度新規採択希望 県営土地改良事業 大堤谷地区
(農業用排水施設(ため池等整備事業(防災重点緊急整備型))事業) 計画平面図

標準断面図



事業概要	
ため池整備	N=3箇所
●大堤谷第1	
・堤体盛土工	N=1.0式
・洪水吐工	N=1.0式
●大堤谷第3	
・堤体盛土工	N=1.0式
・洪水吐工	N=1.0式
・漏水対策工	N=1.0式
●大堤谷第4	
・堤体盛土工	N=1.0式
・洪水吐工	N=1.0式
受益面積	11.8ha
全体事業費	520,000千円
事業主体	福井県

凡例		
色別	名称	数量
	受益	11.8 ha
	不可避受益	0.3 ha
	流域	8.9 ha
	大堤谷第1受益	8.8 ha
	大堤谷第3受益	8.4 ha
	大堤谷第4受益	11.8 ha
	ため池	3箇所
	計	
	面	
	既設利用	
	県道	
	河川	
	用水路	

Scale=1:2500

